

2019 年度 授業計画(シラバス)

開講時期	1年次前期	科目区分	専門科目
学科名	公務員専攻科	授業形態	講義演習
担当講師	塩川尚文	授業科目名	化学 I
単位数	2	時間数	30
受講生の到達目標	講義範囲内の問題において7割以上の正答を目指す。		
授業概要	化学の概念には難解なものが多く、記述を読み進めるだけでは理解できない場合が多々ある。本講義では、化学の基本的な原理・法則を正しく理解し、化学の事物・現象を探求する姿勢を身につけるようにすることがねらいである。また校の講義だけではなく、いつでもどこでも学習ができるようインターネットを利用したWebトレーニングを教材として採用しており、暗記力アップを図る。		
授業計画	4月	物質の構造	
	5月	物質の三態変化、溶液、酸・塩基	
	6月	酸化・還元	
	7月	無機化合物、有機化学	
	8月	夏期講習(まとめ)	
	9月	直前演習	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
成績評価の方法	科目評価は模擬試験や随時行われる確認テストを100点満点に換算し、以下4段階で評価する。優・・・100～85点、良・・・84～70点、可・・・69～55点、不可・・・54点以下。また出席率、授業態度、提出物に問題がある場合は換算した点数から減算し評価を決定する。		
使用テキスト及び参考図書	自然科学(TAC出版)		
	公務員試験過去問題集(各社)		
	Webトレーニング(ウィネット)		
学生へのメッセージ	自然科学の問題は全体の出題数からすると少なく、勉強量に対するパフォーマンスはとて低い科目になります。よって全てを網羅するというよりはポイントを絞った学習により効率よく学習する事が大切です。		

2019 年度 授業計画(シラバス)

開講時期	1年次後期	科目区分	専門科目
学科名	公務員専攻科	授業形態	講義演習
担当講師	塩川尚文	授業科目名	化学Ⅱ
単位数	2	時間数	30
受講生の到達目標	講義範囲内の問題において7割以上の正答を目指す。		
授業概要	化学Ⅰでは知識の習得と出題頻度の高い問題についての講義であった。それを踏まえ化学Ⅱでは過去問題を中心に苦手な単元を把握し、細かい内容の出題でも対応できるよう力をつけていく。また校の講義だけではなく、いつでもどこでも学習ができるよう引き続きインターネットを利用したWebトレーニングを活用し暗記力アップを図る。		
授業計画	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月	物質の構造	
	11月	物質の三態変化、溶液、酸・塩基	
	12月	酸化・還元	
	1月	無機化合物、有機化学	
	2月	総合演習	
	3月		
成績評価の方法	科目評価は模擬試験や随時行われる確認テストを100点満点に換算し、以下4段階で評価する。 優・・・100～85点、良・・・84～70点、可・・・69～55点、不可・・・54点以下。 また出席率、授業態度、提出物に問題がある場合は換算した点数から減算し評価を決定する。		
使用テキスト 及び参考図書	自然科学(TAC出版)		
	公務員試験過去問題集(各社)		
	Webトレーニング(ウィネット)		
学生への メッセージ	自然科学の問題は全体の出題数からすると少なく、勉強量に対するパフォーマンスはとて低い科目になります。よって全てを網羅するというよりはポイントを絞った学習により効率よく学習する事が大切です。		